

# 三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド【愛称:ブルーゴールド】の直近の運用状況について

## 追加型投信/内外/株式

### 直近の運用状況について

三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド【愛称:ブルーゴールド】の基準価額は足元、大きく下落しました。以下に基準価額下落の背景となりました市況動向等、ならびに今後の見通しと運用方針につきご報告させていただきます。

#### 【基準価額の推移】

(期間:2007年7月27日～2011年8月12日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日、参考指数は設定日翌営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.75%(税込)(上限値))控除後の値です。(上限値は、投資対象とする投資信託証券における信託報酬率を含めた実質的な信託報酬率を算出したものです。)
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

参考指数はMSCI ワールド インデックス(円換算ベース)です。  
 MSCI ワールド インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数です。MSCI ワールド インデックス(円換算ベース)は、MSCI ワールド インデックス(米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI ワールド インデックスはMSCI Inc.の財産であり、「MSCI」はMSCI Inc.のサービスマークです。

### ファンドの現況

(2011年8月12日現在)

	2011/8/12
基準価額	4,911円
純資産総額(百万円)	10,731

	基準価額	日付
設定来高値	10,286円	2007/10/15
設定来安値	3,605円	2009/3/10

### 騰落率

(2011年8月12日現在)

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-14.93%	-18.08%	-17.85%	-4.38%	-42.41%	-50.89%
参考指数	-14.83%	-18.43%	-18.86%	-5.22%	-40.46%	-51.29%
差	-0.10%	0.35%	1.01%	0.83%	-1.94%	0.40%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。  
 基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

## 三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド【愛称:ブルーゴールド】の直近の運用状況について

### ファンドマネージャーコメント

#### (基準価額下落の背景となった市況動向等)

水関連株式市況は、2011年初より中東・北アフリカ情勢の混迷や東日本大震災の影響が嫌気され、軟調な相場展開が継続していました。また足下では、米国における景気の先行き不透明感が強まるなどグローバルでの景気減速懸念が強まったことに加え、欧州圏の債務危機の懸念が拡大するなどグローバルでの投資環境の悪化を背景に下落基調を強めています。このような中、当ファンドでは水関連株式の中でも景気に比較的敏感な水処理技術関連銘柄や水インフラ関連銘柄などを中心に全般的に下落圧力が高まったことが基準価額下落の要因となりました。

外国為替市場では、投資家によるリスク回避姿勢の強まりから、米ドルや英ポンドなどの通貨が対円で大きく下落し、こちらも基準価額を押し下げる要因となりました。

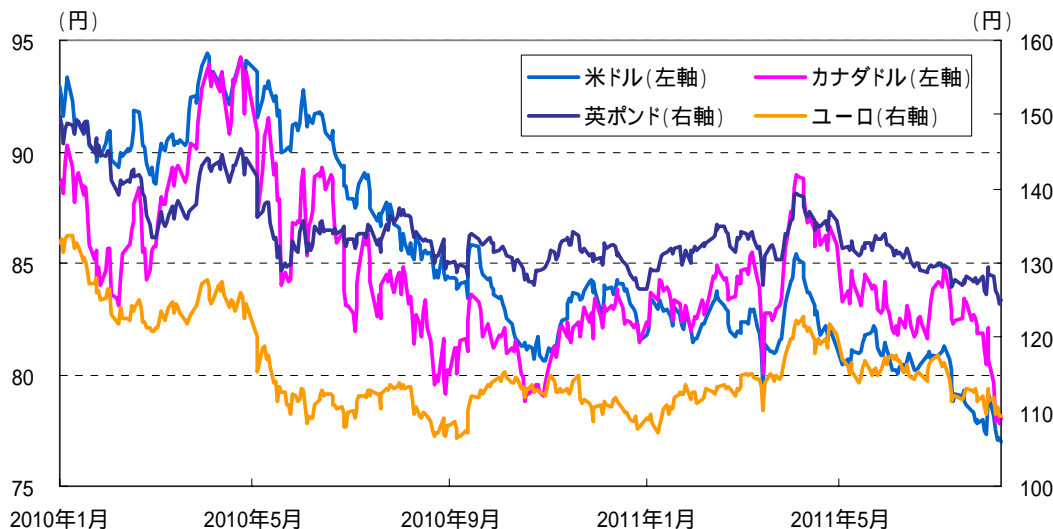
#### (今後の見通しおよび運用方針)

世界的な株式市況は、米国の景気減速懸念や欧州の財政問題、米国債の格下げなどを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まっており、水関連株式についても当面は不安定な展開が続くと考えます。しかしながら水関連企業においては、潤沢な資金やバリュエーション(投資価値基準)の魅力から引き続きM&A(企業の合併・買収)の活発化が想定され、株価の下支え材料になると見えています。また、中期的には老朽化した水関連インフラの改修需要や金融危機の影響により延期されていた水インフラ整備計画の再開が見込めることも好材料と見えています。

以上の見通しを踏まえ、当ファンドでは引き続き水関連株式の中でも財務健全性が高く、バリュエーションが魅力的で収益成長の期待できる企業を選好する方針です。ポートフォリオ構築にあたっては、収益が比較的安定している水道会社などを引き続き重視するとともに、業績成長が見込まれる水処理技術関連企業などをバランスよく組み入れる方針です。

### 組み入れ上位通貨の推移(対円)

(期間:2010年1月4日～2011年8月12日)



・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。  
また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。  
また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

**三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド【愛称:ブルーゴールド】**
**ファンドの目的・特色**

- ファンドの目的**  
世界(含む日本)の水関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
- ファンドの特色**
- ・主として円建ての外国投資信託であるKBIエコ・ウォーター・ファンドおよび証券投資信託である日本短期債券マザーファンドの投資信託証券への投資を通じて、世界(含む日本)の水関連企業の株式に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。
  - ・ファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。
  - ・円建外国投資信託の運用は、クラインウォーター・ベンソン・インベスターズ(ダブリン)リミテッドが行います。
  - ・銘柄選定にあたっては、社会的責任投資(SRI)に関するリサーチにおいて長年の実績があるKBC アセット・マネジメント・エヌブイの投資助言を活用します。
  - ・実質的な組入外貨建資産については、原則として、為替ヘッジを行いません。
- < 主な投資制限 >
- ・株式への直接投資は行いません。
  - ・投資信託証券への投資割合に制限を設けません。
  - ・外貨建資産への直接投資は行いません。

**投資リスク**

- 基準価額の変動要因**  
ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。  
したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。
- ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

**市場リスク**

- (価格変動リスク)  
一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
- (為替変動リスク)  
組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

**信用リスク**

- 組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

**流動性リスク**

- 有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

**その他の留意点**

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

**リスクの管理体制**

- ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

**(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)**

委託会社(ファンドの運用の指図等) 三菱UFJ投信株式会社  
 受託会社(ファンドの財産の保管・管理等) 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 販売会社(購入・換金の取扱い等) 後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 ... 三菱UFJ投信株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
 加入協会 (社)投資信託協会  
 (社)日本証券投資顧問業協会



**三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド【愛称:ブルーゴールド】**

**手続・手数料等**

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 / 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ファンドの基準価額は1万円当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 / 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 - 信託財産留保額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日、ロンドン証券取引所の休業日、ロンドンの銀行の休業日、アイルランド証券取引所の休業日、ダブリンの銀行の休業日は、購入・換金のお申込みができません。2011年の該当日は1月17日、2月21日、3月17日、4月22日、4月25日、5月2日、5月30日、6月6日、7月4日、8月1日、8月29日、9月5日、10月31日、11月11日、11月24日、12月26日、12月27日、12月28日です。なお、休業日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	2014年7月22日まで(2007年7月27日設定)
繰上償還	受益権の口数が30億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。
決算日	毎年7月22日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。

ファンドの費用・税金

・ファンドの費用

**【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】**

お客さまが直接的に負担する費用

購入時	
購入時手数料	購入価額 × 3.15% (税抜 3%) (上限) / 販売会社にご確認ください。
換金時	
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 × 0.3%

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	
運用管理費用 (信託報酬)	当該ファンド: 純資産総額 × 年1.05% (税抜 年1%) 投資対象とする投資信託証券: 年0.7%以内 実質的な負担: 年1.75% (税込) 投資対象とする投資信託証券における料率を含めた実質的な料率 (上限値) を算出したものです。
その他の費用・手数料	売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎計算期間の6ヵ月終了日および毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限ります。)には消費税等相当額が含まれます。

お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**当資料のご利用にあたっての注意事項等**

投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。 / 販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。 / 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。 / 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。 / 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。 / 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。 / 当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

**(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)**

お客さま専用  
フリーダイヤル 0120 - 151034  
受付時間 / 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・12月31日 ~ 1月3日を除く)

< オフィシャルサイト > <http://www.am.mufig.jp/>  
< モバイルサイト > <http://k.m-muam.jp/a/1/3>  
基準価額・分配金をメール配信(\*メール配信対象外ファンドもあります。)



